

## 令和元年芽室町議会定例会 1 2 月定例会議一般質問

令和元年 1 2 月 1 7 日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
黒田 栄 継 (60 分間)	1 芽室町教育 大綱の推進に ついて	<p>平成 31 年度 教育行政執行方針において、次のように記されています。</p> <p>「急激な人口減少と少子高齢化、人工知能をはじめとする急速な技術革新、高度情報化やグローバル化の進展など、社会が大きく変化する時代に直面する中、その変化に対応するのみならず、主体的に社会に関わり新たな価値を創造し、未来を切り拓く資質・能力の育成が重要となっています。</p> <p>昨年 12 月、本町の教育行政の振興に関する総合的な施策の方針である「芽室町教育大綱」を策定し、その基本理念を『心豊かで「次代に輝く 芽室の人」を地域全体で育みます!』と定め、町への愛着と誇り、自己有用感の醸成、夢の実現へ挑戦する人財を育成していくため、学校、家庭、地域、関係機関・団体等と連携を図りながら、本町の教育、文化及びスポーツの振興について推進してまいります。」としています。</p> <p>以上の方針を受けて、教育長就任にあたっての挨拶の中で、特に 3 つのことに重点を置き、これらの実現に向けた取り組みを進めるとありました。</p> <p>1) コミュニティー・スクールの推進 2) 食農教育の推進 3) 持続可能な地域社会を作るための生涯学習の推進</p> <p>これらの取り組みを今後推進していくにあたり、どのようなことを具体的に取り組んでいくのか、教育委員会の見解をお伺いいたします。</p>	教育委員会
寺 町 平 一 (50 分間)	1 公立芽室病 院の経営安定 に向けてどう 取り組んでい くか	<p>公立芽室病院の経営安定に向けてどう取り組んでいこうとしているのかについて伺います。</p> <p>① 厚生労働省は全国の公的病院の 424 病院を再編や統合を議論すべきであると公表した。この中に公立芽室病院もある。これに対する町長の見解を伺います。</p> <p>② 経営安定に向けて取り組んではいるが、目にみえる成果が表われていない。思い切った財政支援を行い、必要としている高度な医療機器を導入し、患者の受け入れに対応すべきと考えるが町長の見解を伺います。</p>	町 長
	2 農畜産品の 大幅な関税削 減で市場開放 による芽室町 農業への影響 をどう捉えて いるか	<p>農畜産品の大幅な関税削減で市場開放による芽室町農業への影響をどう捉えているか伺います。</p> <p>① 国は日米貿易協定及び環太平洋経済連携協定（T P P 11）による農林水産物の生産額が最大で約 2,000 億円に上ると影響試算を発表している。しかし、国内対策の効果で生産量への影響はないとしている。影響試算の明確な根拠が示されていない中で、実際に影響は無いのでしょうか。芽室町の農業への影響はあるものと思います。基幹産業が農業であるわが町で町民の方々は不安を抱いているが町長の見解を伺います。</p> <p>② 日米貿易協定、T P P 11、日欧経済連携協定（E P A）も含めた、大きな市場開放に対して、芽室町も農家の所得影響額を検証し、対策を考えるべきと思うが町長の見解を伺います。</p> <p>③ 酪農畜産の生産基盤整備に町も独自の助成金等の支援策を講ずるべきと考えるが町長の見解を伺います。</p>	町 長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
堀切 忠 (45分間)	1 廃棄物の抑制と適正な処理について	<p>第5期芽室町総合計画の実施計画にもありますように、「本町の豊かで美しく良好な環境を保全し、次世代に継承していくためには、町民との協働による日常的な環境保全・美化活動を推進するとともに、町民・事業者・行政が互いに協力し、環境への負荷の少ない持続可能な循環型社会の形成を進めることが重要」と考えます。</p> <p>本町では、「芽室町ごみ処理基本計画」を策定し、廃棄物の抑制と適正な処理に取り組み、平成29年3月に中間見直しが行われましたが、更にごみ減量に向けた具体的な取り組みが必要と考えます。</p> <p>本町における、廃棄物の抑制と適正な処理について以下3点について町長の見解をお伺いいたします。</p> <p>① 芽室町ごみ処理基本計画に基づく、現時点での町の取組みの進捗状況と、課題をお伺いいたします。</p> <p>② 芽室町ごみ処理基本計画は、平成32年度（令和2年度）までの計画ですが、令和3年度以降のごみ処理基本計画についてどのような手法でどのような方向性で見直すかについて、町長の見解をお伺いいたします。</p> <p>③ 十勝圏複合事務組合で新中間処理施設の整備に向けた検討をされていますが、進捗状況と町長の見解をお伺いいたします。</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
正村紀美子 (90分間)	1 職員の不祥事における町の対応について	<p>病院元医師による不祥事は病院および町への信頼を大きく損ねました。病院改革の真ただ中に起きた今回の事件は病院を応援したいという町民の思いや改革に取り組んできた職員のやる気に水を差す行為であります。</p> <p>町の対応をめぐるさまざまな声がありますが、いずれにしても職員の不祥事によって芽室町への信用を失うことは町政への理解や関心、まちづくりへの参加意識が低下することにつながります。町、病院、議会はこれらのことを肝に命じ信頼回復に向け、それぞれの立場で責任を果たしていくことが肝要だと考えます。</p> <p>そこで以下の点について質問します。</p> <p>① 不祥事の発覚後、町民や職員への報告がないまま10月5日に病院まつりが開催されました。10月8日開催の全員協議会において町長は「以前から準備を進めており開催を決定した」と説明されましたが、病院まつりの成果についてどのように総括されたのか伺います。</p> <p>② 今回の事案では公立病院という公的施設にカメラが設置されました。このカメラの設置により町は被害を被っていると考えますが、町長の見解について伺います。</p> <p>③ 今回の不祥事については病院元医師の処分後に町民への公表があり、その後対策や改善策が発表されました。ホットボイスでは町の対応について疑問視する声が届いていましたが、今でもこれまでの対応については最善の策と考えているのか伺います。</p>	町長
	2 連携協定締結後の町内会支援について	<p>町内会は最も身近な自治組織であり地縁組織です。また町内会は任意の住民自治組織であるという反面、町と様々な面で協力や連携を行っており、結果として地方自治の運営の一端に深くかかわっている団体です。今年度、町は町内会連合会と連携協定を締結し住民自治の実現に取り組もうとしています。</p> <p>そこで今後の町内会活動支援について伺います。</p> <p>① 町は、平成16年3月に行政区長制度を廃止し、時代に応じた地域支援を実施してきました。これまでの取組みと住民自治の実現について町の見解を伺います。</p> <p>② 連携協定締結によって町の町内会への支援は、具体的で明確になりました。住みよいまちづくりを目指すパートナーとして、町内会の位置づけはどのように変化したのか伺います。</p>	町長